

いろいろな使いかた

その他設定

便器の水たまり面を下げる  
(水の跳ね返り低減や  
検便のときなど)  
水面下げる

便器とウォシュレットの水を  
一定の間隔で自動で流す  
凍結防止

電子音を  
鳴らす/鳴らさない  
電子音

1 設定 押す

2 次ページへ 押す

3 その他設定 押す

<操作面 1 画面>

<操作面 2 画面>

<操作面 3 画面>

水面下げるボタン

凍結防止ボタン

電子音ボタン

4 水面下げる 押す

便器内の水が流れて  
低い水位でたまる

水面下げるボタン

<設定完了>

お知らせ

検便時に使用する  
ときは「オート便  
器洗浄」を「切」に  
してください。  
(P.30)

便器洗浄すると、  
通常の水面の高さ  
に戻ります。  
水面を下げて使い  
たい場合に、都度  
設定してください。

4 凍結防止 押す

設定すると約10分間隔で便器洗浄して  
凍結を防止します。

凍結防止ボタン

5 はい 押す

はいボタン

<設定完了>

<「切」に設定する場合>

凍結防止 を押して  
「切」に設定してください。

4 電子音 押す

押すたびに切り替わる

電子音を

「鳴らす」とき

「鳴らさない」とき

電子音ボタン

汚物が流れにくいとき  
便器洗浄水量6Lモード

汚物が流れにくいとき  
便器洗浄水量8Lモード

「故障かな?と思ったら」の「汚物がきれいに流れない」(P.67、68)の内容をご確認のうえ、必要な場合のみ設定を行ってください。

「便器洗浄水量8Lモード」に設定している場合は、  
8Lモードの設定を解除してから行ってください。

「便器洗浄水量6Lモード」に設定している場合は、  
6Lモードの設定を解除してから行ってください。

1 設定 押す

2 次ページへ 押す

3 その他設定 押す

<操作面 1 画面>

<操作面 2 画面>

<操作面 3 画面>

便器洗浄水量6Lモード

便器洗浄水量8Lモード

4 6Lモード 押す

押すたびに切り替わる

便器洗浄水量を6 Lに変更

「する」とき

「しない」とき

床排水の場合は洗浄水量が、  
大 3.8 L / 小 3.0 L  
→大 6.0 L / 小 5.0 L になります。  
(壁排水の場合は、大 4.8 L / 小 3.4 L  
→大 6.0 L / 小 5.0 L になります。)

便器洗浄水量 6L モードボタン

4 8Lモード 押す

押すたびに切り替わる

便器洗浄水量を8 Lに変更

「する」とき

「しない」とき

床排水の場合は洗浄水量が、  
大 3.8 L / 小 3.0 L  
→大 8.0 L / 小 6.0 L になります。  
(壁排水の場合は、大 4.8 L / 小 3.4 L  
→大 8.0 L / 小 6.0 L になります。)

便器洗浄水量 8L モードボタン

使いかた

38

39

# こんなときは

## 製品内に記憶されている「スマートフォンとの通信設定と計測データ」をすべて削除したいとき

引っ越しや製品を廃棄する場合など、製品内に記憶されている「スマートフォンとの通信設定と計測データ」をすべて削除したいときは「ペアリング初期化」を行ってください。(P.43)

### お知らせ

- ペアリング初期化を行うと、登録されている全員の「スマートフォンとの通信設定と計測データ」が削除されます。特定の個人番号情報のみ削除したい場合は、サポートページ (P.16) のヘルプを参照してください。

## 凍結予防をするとき

外気温が0℃以下になるときは、凍結予防を行ってください。

• 便器の種類によって凍結予防のしかたが異なります。便器の種類に合わせて、作業してください。

### お願い

- 外気温が0℃以下になるときは、節電しないでください。(製品が破損するおそれ)
- 周囲の温度が0℃以下にならないよう、トイレ内を暖めるか、凍結予防を行ってください。
- 作業前に、「オート便器洗浄」(P.30)「オートふた開閉」(P.32)を「切」にしてください。

## 流動方式(ヒーター付便器・水抜併用方式以外)

便器とウォシュレットの水を、一定の間隔で自動で流して、凍結を予防する方法です。

### ■設定のしかた (P.38)

- リモコンで「凍結防止」を「入」にしてください。

凍結防止中は、次のように作動します。

- 「運転」ランプが点滅する
- 約10分間隔で便器洗浄(約4.8 L)する
- 約50 mlの水が約5分間隔でノズル付近から出る(ノズルは収納したまま)

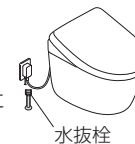


## ヒーター付便器・水抜併用方式

### 1 水抜栓を操作して、給水を止める

#### お願い

- 止水栓は開けたままにしておいてください。(製品内部の水が抜けずに凍結破損するおそれ)



### 2 押し

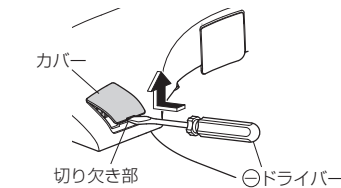
- 給水管の圧抜き

### 3 電源プラグを抜く

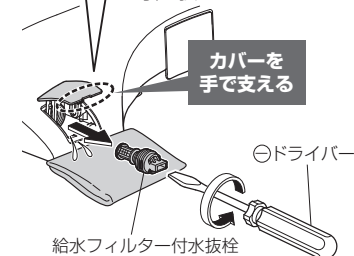
### 4 配管の水を抜く

①便座・便ふたを開ける

②カバーの切り欠き部に⊖ドライバーを差し込んで開ける



③給水フィルター付水抜栓を⊖ドライバーでゆるめて、引っ張る



必要なとき

### ヒーター付便器・水抜併用方式 (つづき)

#### 5 給水フィルター付水抜栓を取り付け、カバーを閉める

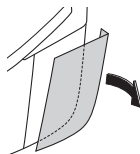
- ①給水フィルター付水抜栓を押し込み、  
②ドライバーで確実に締める



#### 6 電源プラグを差し込む

- ・「運転」ランプが点灯する

#### 7 すっきりパネル(右)を取りはずす



#### 8 タンクの水を抜く

- ・すっきりパネル裏面のラベル  
「タンク内水抜き作業手順」参照

#### 9 便座温度を「高」にする (P.22、23)

- ・保温のため、作業後は便座・便ふたを閉めておく

#### ■再度ウォシュレットをお使いになるときは

- ・再通水が必要です。(P.64)

#### お知らせ

- ・ヒーター付便器は室温が5℃以下になると自動でヒーターが入ります。
- ・凍結のおそれがないときは、ヒーター付便器の電源プラグを抜いておいてください。

別荘などのトイレを長期間使わないときは、水抜きをしてください。

(製品内の水が腐敗して皮膚の炎症などをおこす原因)(凍結して製品破損などをおこす原因)

**お願い** ・凍結のおそれがあるときは、凍結予防を行ってください。(P.61)(製品が破損するおそれ)

**ご注意** ・「お掃除リフト」(P.49)で本体が上がった状態での水抜きはしないでください。

### 水抜きのしかた

- 1 ■流動方式(ヒーター付便器・水抜併用方式以外)のとき  
止水栓または元栓を閉める (P.4)  
■ヒーター付便器・水抜併用方式のとき  
水抜栓を操作して、  
給水を止める (P.61 手順①)

**お願い**  
・止水栓は開けたままにしておいてください。

- 2 ⑤流す大 を押して  
タンクの水を抜く※1

- 3 シ 押す  
・給水管の圧抜き

- 4 電源プラグを抜く

- 5 配管の水を抜く  
(P.61、62 手順④⑤)

■凍結のおそれがあるときは  
・便器のたまり水(封水)に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。  
(不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分してください。)

■再度ウォシュレットをお使いになるときは  
・再通水が必要です。(P.64)